



津市一身田町2843
高田中・高等学校内
樹心会事務局
電話 059-232-2442



ご挨拶
同窓会会長
佐脇 功

皆様方には、お変わりなく御清栄で活躍のことと存じお喜び申し上げます。
平素から同窓会の運営、母校の発展に格別のご理解ご支援を賜っています。



ご挨拶
学苑長
高臣 文祥

同窓の皆様にはますますご壮健で各方面で大いに活躍のことと存じます。日頃は学苑のためにご支援を賜っておりますことにまずは御礼申し上げます。
今年には悲しいお知らせと嬉しい出来事をご報告いたします。
始めに残念な訃報から申し上げます。

ますことに深く感謝いたし厚くお礼申し上げます。

母校の現状は、学苑長先生をはじめ諸先生方からご案内されています。少子化が進み、各学校とも生徒・学生の募集が厳しさを増すなかで母校の中学・高校、短大の志望者は頗る多く順調に学校運営がされています。建学の精神「仏教精神を基として宗教的情操を培い、人間性豊かな社会

す。
昨年の暮れ十二月に田中前学苑長先生がご逝去なされました。御年満八十八才でありました。
先生が一昨年の秋の叙勲を受けられました。その祝賀の宴を昨年二月に盛大に催したことは昨年の会報にてご報告いたしました。その折には先生は大変お元気な様子で参加者たちとの会話を楽しんでおられたので、まだまだこれからもいろんなお話が聞かせていただけるものと思っておりますのに誠に残念で

人を育成する」と教育理念に基づいた先生方のご熱心な教育指導の賜物であります。

学苑経営に尽瘁され現在の発展の礎を築かれ学苑の隆盛を極められるとともに同窓会の整備充実にご尽力されました田中和磨先生が昨年十二月に、お浄土に旅立ちされました。先生のご冥福をお祈りいたします。先生が高田学苑並びに私学振興に尽くされたご功績は会報第五号と第五七号でご披露いたしました。が昨今、比類ない校長・学苑長・理事長先生であらせられました。先生のご恩に報いるため同窓生は母校・同窓会の発展に努めるべきものと存じ上げま

なりません。この上は先生の築かれたご功績をさらに発展させるように、職員一同協力して努めて参る所存です。
嬉しい出来事は、田村憲久衆議院議員がこのたびの安部内閣におきまして厚生労働大臣の要職に任せられたこととあります。田村先生は八月の樹心同窓会総会には、これまでも公務ご多忙のなかにもかかわらず、学苑の卒業生として毎年欠かさずご出席をいただいでご挨拶をいただいております。このたびの大臣就任

す。

私たちの同窓会は、県内最大規模の同窓会であります。現行の新入会員（新規卒業生）数からして、現在の規模は増大の傾向が続くことは間違いないと見られます。同窓会は会員相互の親睦を図ると共に母校の発展に寄与することを目的としています。今後とも一層、名実ともに充実した同窓会を構築するために三つの委員会（事業、広報、組織）を設けました。事業委員会は、定例総会をはじめとして本会の目標達成のために必要な事業を企画実行するものです。広報委員会は、同窓会報の編集発行のほか広報活動の委員会です。

は誠にもって学苑にとつても慶事です。あります。テレビのニュースなどで先生のお顔を拝見する機会が増えまして嬉しく張り合ひよく思うのは一人のことではないと思います。今後ますますのご活躍を祈念するところとあります。
さて、学苑の現況につきましては学長、校長から詳しく報告いたします。学苑全体としてはほぼ順調に運営がなされていると思っております。本学苑の最大の強みは教職員の「和と協力」であります。これが保たれ

組織委員会は、組織の充実整備に取組み、支部の設立などを図るものです。委員長は副会長が当り、役員は何れかの委員会に所属して同窓会の充実発展を図り、高田学苑樹心同窓会員であることに誇りを持ち母校の発展に寄与できるように努力する次第です。母校に勤務されている皆様は熱烈な母校愛のもと、母校の教育を支えているという自負心を持ってご精進いただきますようお願いいたします。

八月四日（日）の総会・懇親会には、お誘い合わせて大勢の皆様が参加されますようお願い申し上げます。

ておることで生徒・学生が落ち着いて学業に励むことができ、ひいては保護者の皆さんや地域の方々の信頼を得られていると考えます。
今後急速な少子化が進み、私学を取り巻く環境はとりわけ厳しいものになることが予想されます。十年後の学苑の姿を楽観的に想像することはできませんが、今後も全教職員が学苑の基本精神「和と協力」を忘れずに努力を続けていけば必ずや道は開けるものと信じています。



ご挨拶と報告

中高校長
梅林 久高

皆様におかれましては健勝でご活躍のこととお喜び申し上げます。日頃は本校の発展と教育方針にご理解ご支援を賜っていることに感謝申し上げます。

この三月には卒業生六四七名(三年生四三〇名、六年生二一七名)がさらなる自己実現を目指して飛翔して行きました。春には新入生中一は二〇三名、高一は四四五名、四年生一九五名を迎え、在校生合わせて二四〇六名、六十四クラスでスタートしました。高一は定員より増加し女子が男子より四十名多く入学しました。校舎の南側に広がる本山の木々、その向こうに両御堂の屋根が美しく伸びやかな曲線を描いています。三方の水田には稲の苗がゆっくりと力強く伸びようとしています。



ご挨拶とご報告

短大学長
栗原 廣海

樹心同窓会会員の皆様にはますますご活躍のこととお慶び申し上げます。

子ども学科百六十名、キャリア育

生徒達は自然に囲まれ、整った教育環境のもとで澁刺と学業にクラブにと打ち込んでいます。

就職・進学、部活動にも好成績を上げていますので、詳細や結果などは本会報の記事をご高覧下さい。往時を回顧して頂くと共に後輩の頑張っている姿を見てやって下さい。生徒一人一人が家庭学習や授業を大切に学習習慣を身につけ、基礎学力、実力、さらに応用力へつながるように教職員一体となって熱く丁寧に指導して行く所存です。

部活動では、中学生は二十八の部に約九十二%が入り、高校生は四十八の部に約六十四%が所属して日々精進しています。同窓会設置の「全国出場クラブ激励金」を頂いた高校のクラブ数は九クラブ、出場選手は延べ数で四十九名となりました。ご支援に対して重ねて感謝申し上げます。活動の一端をご紹介します。

演劇部が顧問西尾先生の創作「マスケ」で初めて中部大会で優勝し、

成学科八十一名、合計二百四十一名の新入生を迎えて、平成二十五年度がスタート致しました。

昨年の本紙にご報告しましたとおり、本年度から「人間介護福祉学科」と「オフィス人材育成学科」を統合して「キャリア育成学科」とし、「オフィスワークコース」と「介護福祉コース」を設置しました。地域社会に貢献できるオフィスワーカー

この夏の長崎での全国大会に出場する快挙を達成。中高合わせてクラブ数は七十六の部があり、教員は教科指導、クラス運営、部活動の指導にと奮闘しています。さらに部以外でも様々な分野で活躍し入賞、表彰を受けています。伊藤江理華さんは指揮者佐渡裕氏のオーケストラに所属し、東日本の大震災復興を願ってのコンサートなどにバイオリン奏者として参加した体験が、東北大学の阿部次郎記念賞の最優秀作品に選ばれました。岸田海音さんは青少年読書感想文全国コンクール県入賞。今田翔子さんは中学校英語弁論第六十四回高円宮杯に出場。また、今年の四月には松阪市で開かれたNHKのど

自慢大会で篠木優一さんがチャンピオンに、野口瑠夏さんが合格。二人とも制服で出場し、爽やかで好印象を与えてくれました。この六月に陸上走幅跳種目で松岡修平さんが世界ユース陸上競技選手権大会(ウクライナのドネツク)の日本代表選手に選ばれ、活躍が期待されます。

と介護福祉士を育成したいとの目的は、昨年までの二学科体制と変わりますが、一つの学科に統合することで、建学の精神と教育の理念のもと、キャリア教育をトータルで実施し、社会が大学卒業生に対して求めている人間基礎力の養成をより強化したいと考えています。

新聞報道等により、すでにご存じの会員の皆様も多いと思いますが、

近年、生徒会活動も生徒達を中心となり積極的にを行っています。生活委員会のあいさつ運動、環境委員会のエコキャップ、一身田寺内町清掃、安全推進委員会の地震など防災に対する講習会実施、交通安全対策、企画委員会が学校行事の運営などを展開しています。

二十年目を迎えるオーストラリアとの国際交流では、一九九七年に本校に来日したゴティエさんは当時大西陸登さん宅にホームステイ。そのゴティエさんがシンガーソングライターとして活躍し、この春米音楽界最高の榮譽グラミー賞の栄冠に輝いたことがニュースとなり、国際交流のますますの深化が期待されます。

今、生徒達は無限の可能性に向かって輝き出そうとしています。教育に携わる喜びをかみしめつつ仏教の教えに導かれ、一人一人を丁寧に育てて行く責務を痛感しています。そして、心身の成長も著しい年齢の時ですので、心に羽を生やしたいと思います。

少子化が進み、さらには経済状況の動向や県立の授業料無償化等の影響を受けて生徒募集も厳しいですが、本校独自の授業料等生徒納付金助成制度も順調に運用されています。

氾濫する情報社会の中で携帯電話やインターネットなどは、子ども達の生活にも様々な影響を与えているので、健全な利用方法を指導。さらには交通事故などから身を守るように安全配慮の徹底を推進し、主体的に社会規範や公共のマナーを身につけていくための指導を展開しているところです。そのために学校と保護者の方々の連携をより密接にしていくご縁として学年通信の発行やホームページのリニューアルをしていますのでご覧頂ければ幸いです。

喫緊の課題は様々ありますが、より一層保護者の皆様から安心と信頼され続ける学校作りを目指すには、常に教職員のスキルアップが重要でありますので、さらなるご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

ありますが、この度の高大教育交流協定は、連携をさらに積極的にはかろうとするものです。具体的には、

高大教職員連絡協議会を設置し、各高校で就任いただいた教育交流コーディネーターと本学のコーディネーターが高大接続に関する具体的な内容について協議します。また、出前授業・出張ガイダンスもより積極的に実施するとともに、本学の正規の

平成25年度

高田学苑樹心同窓会總會

平成25年 8月 4日(日) 午後 3時～6時

●總會 ●親會
●總會 ●追弔會
●講 演 會 田村憲久厚生労働大臣 (中三S55年卒)
●懇 親 會 新任教職員紹介他

●總會 ●追弔會
●講 演 會 田村憲久厚生労働大臣 (中三S55年卒)
●懇 親 會 新任教職員紹介他

※会費、3,000円当日受付で頂きます。
※お車で越しの方はアスト津駐車場をご利用ください。
※お酒が出ます。飲まれる方はお車での参加はご遠慮ください。

平成24年度高田学苑樹心同窓会決算報告書

収 支 決 算 書 (H24. 4. 1～H25. 3. 31)

(円)

項 目	金 額
収入の部	
前年度繰越金	3,980,942
株式配当金 (中部電力)	419,430
株式配当金 (みずほフィナンシャルグループ)	22,320
總會会費	285,000
同窓会入会金 (高校)	2,264,500
同窓会入会金 (短大)	710,500
卒業証書丸筒代金	97,597
預金利子	499
収 入 合 計	7,780,788

支出の部	
總會会費	930,896
会議費	147,000
会報発行費	429,359
通信費	6,836
慶弔費	105,050
卒業証書丸筒	97,597
卒業記念品費 (高校)	275,709
卒業記念品費 (短大)	94,563
140周年記念樹及び管理費	189,000
短大同窓会補助金	12,720
激励金	270,000
事務消耗品費	97,677
定期預金	3,000,000
支 出 合 計	5,656,407

収 支 差 額 次 期 繰 越 2,124,381

財 産 目 録 (H25. 3. 31現在)

(円)

項 目	金 額	
基本財産		
百五銀行定期預金		1,504,085
百五銀行定期預金		1,415,128
百五銀行定期預金		2,011,623
百五銀行定期預金		3,000,000
	単 価	時 価
株券 中部電力 (8,200株)	1,153	9,454,600
株券 みずほフィナンシャルグループ (4,000株)	199	796,000
運用財産		
百五銀行普通預金		2,124,381

授業を高校生に受講してもらったり、高校生のための特別の授業を本学で開講したりすることも計画しています。

短期大学としての使命の第一は、学生が楽しいキャンパスライフを送り、主体的な学びをおしてそれぞれのキャリアを身につけ、卒業後は地域社会に貢献できる人物へと成長するための支援を全学一丸となつて推進することです。そのためには、学生と本学の教育のミスマッチを減らすとともに、接続をスムーズにすることが重要です。この度の協定締結は、本学の使命遂行を強力にバックアップするとともに、募集活動に

対しても大きな力となることが期待されるものです。また、高校にとつても、生徒の学習意欲や目的意識を高め、生徒の適切な進路選択の支援につながるなど、キャリア教育の推進に資するとともに、出前授業や本学の正規授業・特別授業を利用した、多様な教育活動の展開に資することが期待されています。

このような協定をおして知っていただきたい本学の教育は、「建学の精神」「教育の理念」「教育の目的」「教育の目標」、そして「三つのポリシー(ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッシン・ポリシー)」として明文化し、

本学のホームページにも掲載しています。これらは、地域の皆さんにも是非ご覧いただきたいものです。

「学校教育法」に定めるところにより、短期大学とは、卒業した者に「短期大学士」という「学位」が授与される学位課程(四年制大学は「学士」が授与される学位課程)です。この点、修業年限は同じでも学位は授与されず、称号が授与される専門学校と決定的に違います。

では、どのような学生に対して卒業を認定し、「短期大学士」の学位を授与するのか。その方針を示したものが「ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)」と言われるもので、

育成したい人材像を具体的に示しています。

そして、学位授与にいたる教育をどのように実施するのかを明示するのが「カリキュラム・ポリシー(教育課程編成・実施の方針)」であり、その教育を実施する対象として、どのような学生を受け入れたいのかを明記したのが「アドミッシン・ポリシー(入学者受け入れ方針)」です。紙面の都合でこの「三つのポリシー」を具体的に挙げることはできませんので、ぜひ本学のホームページでご覧いただければ幸いです。

さて、平成十六年より、大学・短期大学・高等専門学校は、教育研究

水準の向上を目的に、七年以内ごとに、文部科学大臣の認証を受けた評価機関(認証評価機関)による評価(第三者評価)を受けることが義務付けられています。本学は平成十九年度に評価を受け、すべての分野において「合」と評価され、「適格」の認証を得たのですが、来年度は前回から七年目に当たり、二回目の評価を受ける年度になります。教職員一丸となつて準備に当たり、二回目の第三者評価に臨みたいと考えています。

樹心同窓会会員の皆様の、変わらぬご理解とご支援を今後とも賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

新任教職員紹介

- 一、氏名
- 二、担当教科
- 三、担当部活動
- 四、趣味・特技
- 五、着任のことば

中・高等学校

一、亀井 博樹
二、理科

四、海
五、四月から非常勤講師をさせていただいています。よく整備された広いグラウンド、綺麗で整った校舎、明るく素直な子ども達、熱心で親切な先生方、そして木の床の落ち着いた教室は素晴らしいと思いました。理科の苦手な子、文系の子にもわかりやすく楽しい授業を目指しています。よろしくお願ひします。

一、川村 俊介
二、英語

三、放送部
四、ビデオカメラ・動画編集

五、本年度より、高田中・高等学校でお世話になります。昨年度までは他の高校で教えておりましたが、常に周りの先生方の指導を見せただきながら、自分の指導法の勉強をさせていただいておりました。今年から初心に還って一からまた勉強させてもらっております。これまでの経験を活かして、さらに生徒にとって良い授業・力をつける指導を目指して精一杯努力したいと考えておりますのでよろしくお願ひします。

一、川北 佑奈
二、英語

三、高校硬式テニス部
四、パウンドケーキ作り

五、本年度より、良いご縁をいただき母校である高田学苑にてお世話になることになりました。大変ありがたく思うと同時に、身の引き締まる思いです。

私自身が在学中に英語の面白さや英語を学ぶ喜びを知ったように、一人でも多くの生徒にそれを伝えていきたいと思ひます。

まだ至らぬ点が多く未熟者ではありますが、一生懸命頑張ります。今後とも、何卒よろしくお願ひいたします。

一、辻川 良太
二、現代文

四、スポーツ観戦、バレーボール

五、この度、本学苑で教鞭をとらせていただくことになりました。

充実した環境の中で、生徒達と先生方と過ごせることを大変嬉しく思っております。

学校生活、授業を通して、日々成長できたらと私自身考えております。現代文という、日々の生活で実践する大切な教科を担当することになり身の引き締まる思いであります。微力ではありますが、どうかよろしくお願ひします。まだまだ不慣れな部分もありますが、で、困っていたら優しく声をかけてください。

一、西尾恵理奈
二、事務部会計課

三、なし
四、読書

五、四月から高田学苑でお世話になっております。幼い頃から学苑の近くで育ってきた私ですが、職員として働くことになるとは思ってもいりませんでした。このような良い縁をいただけたことに感謝して

着任から二ヶ月が経ちました。何かと行事がある度に、学苑の伝

統や歴史の深さを実感しています。色々ご迷惑をかけることもあると思いますが、精一杯努めていきたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひいたします。

一、三室 貴久
二、事務部庶務課

三、なし
四、ダーツ・車

五、この度、高田学苑でお世話になることになりました。

前職では、保険・貯金等の金融商品を中心とした営業及び営業指導を行ってまいりました。

学校という組織の中で、今までの経験を生かしつつ、自らも学びながら職務にあたりたいと思ひます。ご指導よろしくお願ひします。

一、吉田 興治
二、数学

四、趣味は複雑多面体、あれこれと程々に楽しむ、時にはのめり込む。京都霊山の幕末維新、高知龍馬会の龍馬研究、伊勢郷土会での地域探求、それらに伴うフィールドワークは至福。いせトピアの参宮道中記、名勝誌、街道の民俗も面白い。特技ではないが、旧神領民として二〇年に一度の式年遷宮

(第六二回)に奉獻する。四回目

(二之木須原団) 最後のご奉公になりそう。

五、高校時代に素晴らしい先生に出会った。授業は明解、よくわかる解釈で難問が解けるようになった。私の原風景である。それを基軸にして新カリに対応、再構築して立派な生徒を育てたい。

一、稲田 直子
二、保育内容―表現、キャリアサポーター

三、なし
四、音楽鑑賞

五、四十年間四日市市立公立幼稚園に勤務し、退職後、母校である高田短期大学でお世話になることになりました。幼稚園実践現場で学んだことを、授業とキャリア支援の中で、事例を通し分かり易く伝えていきたいと考えています。学生達としっかりコミュニケーションをとりながら、努力していきたいので、これからもよろしくお願ひいたします。

一、大川 翔平
二、総務課

三、なし
四、読書

一、大川 翔平
二、総務課

三、なし
四、読書

五、四月より、新社会人として総務課でお世話になることとなりました、大川翔平です。

社会人として働くということ自体が初めての経験ですので、至らない点も多く、教職員の方にはご迷惑をおかけしてばかりですが、日々多くのことを学ばせていただき、様々な発見があるなかで充実した日々を送らせていただいております。

総務課でお世話になり二か月がたち、やっと職場や仕事に慣れてきました。まだまだ未熟で至らない点が多いかと思えます。これからも業務を通じて教職員の方々をはじめ、中学・高校とお世話になりました高田学苑に少しでも貢献できるよう、精一杯頑張りますので、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしく申し上げます。

一、大久保 孝

二、事務局キャリア支援センター
三、なし

四、ゴルフ、読書、ウォーキング
五、本年一月よりキャリア支援センターにて学生の皆さんの就職支援・企業求人開拓を担当しております。

私は、百五銀行の出身で、また出向した企業も二社ほど経験、経

済団体にも勤務しました。

これらの職歴を生かして、学生の方が笑顔で卒業できるように、微力ながらお役に立ちたいと、思っています。

精一杯頑張りますので、ご指導ご協力をよろしくお願い致します。

一、岡田 一範

二、社会体験学習、社会体験実習、現代社会事情、ビジネス実務論、流通論

三、なし

四、スノーボード、テニス、スポーツ観戦

五、この四月より高田短期大学キャリア育成学科オフィスワークコーズでお世話になっております。昨年までは名古屋市の高等学校にて勤務いたしておりましたがご縁に恵まれて伝統ある高田学苑の一員となれたことを嬉しく思います。

研究領域である流通論やマーケティング論は時代の変化とともに方法論が変わっていきますが、中核となる部分は変わっていません。だから何十年でも同じ名称でいられるのです。二十三年問題など激変するビジネス環境へとこれから飛び込んでゆく学生にも、各々が持つ中核となる部分だけは変えないように、それを磨き続けてい

けるような方法を一緒になって考えていければと思っております。

未熟者ではございますが高田学苑の一員であったことを誇りに思える学生を育てていく所存でございますので、ご指導、ご鞭撻のほどよろしく申し上げます。

一、河崎 道夫

二、「保育内容総論」「環境」
四、野山や森で遊ぶこと、音楽、読書

五、伝統と高い精神性を有している高田短期大学で仕事ができることを喜んでいきます。

長く「子どもの遊び」をテーマに研究してきました。出自と土台は心理学ですが、現在は保育実践研究と位置づけています。保育の場で少しでも子どもが生き生きと遊ぶことができるよう、保育者養成の場でも微力をささげたいと思っております。どうぞよろしく申し上げます。

一、高橋 孝範

二、事務局キャリア支援センター
三、なし

四、温泉旅行・野菜作り・ゴルフ
五、四月よりキャリア支援センターで、求人企業の開拓と就職の支援を担当させていただいております。

津市の南部から松阪市・伊勢市等の南勢地区の企業を担当しています。

三月までは銀行に勤めておりま

した。環境の激変に戸惑いながら数か月が経ち、企業を訪問しての人事担当者との面談や、学生との面接の練習などで言葉を交わす度に、就職状況の厳しさと、責任の重さを痛感しています。

微力ではありますが、学生の皆さんが社会人として踏み出す第一歩に少しでも満足が得られるように、力を尽くして行きたいと思っております。

ご指導、ご協力をよろしく願います。

一、富永 礼子

二、学生相談室(保健室)
三、なし

四、映画鑑賞
五、本年度より高田短期大学の学生相談室(保健室)でお世話になっております。

三月までこのころのケアが必要な児童思春期の子どもたちへの看護を専門としていました。今までの臨床経験を活かし、学生さんたちがこころも身体もより健康に学生生活を送れるよう、微力ながらお

役に立てるように努めていきたいと思っております。

まだまだ未熟で至らぬ点が多く、皆さまにはご迷惑をおかけするかと思います。今後ともご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

一、水野 潤子

二、キャリアサポーター 保育相談
三、なし

四、ドライブ・料理・手芸 等興味津々
五、父・私・妹・息子・娘と高田を卒業していますのでご縁を感じました。第二のスタート、今までと違った緊張感と楽しみで新年度を迎えました。保育園では「子どもの命を守る責任」でしたが、これから同じ道を歩む後輩の灯台となれるよう努めます。チャレンジが自分を変える一歩、皆さんとの出会いが私にとって意義ある日々となります。家庭の宝・社会の宝である子どもたちが心豊かに成長できるように、良き環境の一つになれるよう頑張ります。よろしくお願

い致します。



進路指導

高校進路指導部

中・高部活動

平成24年度生は、3年制I類20名、II類226名の合計430名、6年制217名が卒業しました。平成25年度入試の合格者数および就職決定先を既卒者を含めまとまりましたので、ご報告します。今後同窓会会員の皆様のご声援をよろしくお願いたします。

進路状況

平成25年度入試の全体・3年制・6年制の進学結果は、次のとおりです。

平成25年度入試進路状況(延べ数)

平成25年4月

Table with columns for 3-year system (I, II), 6-year system (Present, Graduated), and Total. Rows include National, Public, Private, and various specialized schools.

○3年制(延べ数)

過去5年間の合格者推移

Table showing the number of graduates from 2013 to 2017 for various categories like National University, Private University, etc.

- List of universities: 北見工業大学, 北海道大学, 広島大学, 三重大学, 三重県立看護大学, 名城大学, 中央大学, 立命館大学, 高田短期大学.

○6年制(延べ数)

過去5年間の合格者推移

Table showing the number of graduates from 2013 to 2017 for categories like National University, Private University, and Medical Department.

- List of universities: 東京大学, 京都大学, 大阪大学, 神戸大学, 名古屋大学, 三重大学, 早稲田大学, 慶応大学.

■中・高柔道部
現在、中学3年生男子2名、1年生男子2名、高校Ⅲ・6年生男子2名、Ⅱ年生男子5名・女子1名、Ⅰ年生男子4名・女子4名の、計20名で活動しています。

■中・高剣道部
ふと、「今、あの子はなにしているんだらう」と思うことがあります。就職や結婚の報告、子どもが出来た、子どもが剣道始めた・・・等々、近況報告してくれる卒業生もいますが、疎遠になっていくケースもあります。そう思っていると、ひよっこり、何年かぶりに急に、顔を出してくれる卒業生もいます。中には、わだかまりが解けないまま、気になっているけれどどうすることも出来ない卒業生もいます。

【最近の試合結果】
・三重県柔道選手権大会
男子団体.....5位
男子個人.....5位
73キロ級 II年 河村 健吾 5位
90キロ級 II年 若林 啓介 準優勝
(東海総体出場) III年 加納 成 3位
100キロ級 III年 加納 成 3位

この結果、若林と加納の両名は三重県高校強化指定選手に選出されました。
着実にチームの総合力、個人の力の向上が見られ、県内上位に入る力をつけています。新入部員も、初心者から全国大会出場経験者と幅広く、毎日の稽古にも活気がでてきました。全国大会出場を目標に、「文武両道」「有言実行」を心得として、チーム一丸となって毎日精進していきます。

インテナーハイ予選においては、沢山の卒業生の方に応援いただきました。また、卒業生のお父様お母様の姿を観客席でお見かけしました。感謝の気持ちでいっぱいです。そして、普段より、快く稽古に来てくれるみなさん、ありがとうございます。
ふと、「今、高田の剣道部はどんなもんかな」と気にかけていただけると幸いです。

【春季大会の結果】

男子団体 準優勝
女子団体 2回戦敗退
優秀選手 米倉 光

【インターハイ予選】

男子団体 準優勝 (東海大会出場)
女子団体 2回戦敗退
男子個人 第5位
女子個人 第5位
男子個人 第3位 上野祥太郎
女子個人 第2位 後藤 優佳 (東海大会出場)

【津市中学校春季大会】

男子団体 2回戦敗退

■中・高馬術部

今年も第47回全国高等学校馬術競技大会出場をかけた東海地区予選が6月16日に愛知県森林公園乗馬施設に行われました。

全国大会のキップを賭けて、東海地区4県の高等学校馬術部員の戦いが晴天のもと行われ本校からは、Ⅲ・6年生3名(女子)、5年生1名(男子)、4・1年生2名(男女)で参加しました。本戦3名の選手は、Ⅲ・6・5年生で出場しました。

本校はAブロック(4校)で、Ⅲ年青山は減点14でゴール切り、6年丹羽はスタートで手こずりましたが、何とか減点0でゴールを切りました、三人目の5年村木も問題なく減点0でゴール、総減点数14点でAブロック優勝することが出来ました。昨年度は、本戦で悔しい思いをし

ましたので今年こそ残り1カ月充実した練習をして全国大会上位を狙って欲しいです。

7月20・21日に第69回国民体育大会東海地区ブロック大会が静岡県御殿場市で行われます。本校からは、高校生2名が団体戦・個人種目に参加予定です。

良い結果をお知らせできることを、顧問一同願っております。

中学校馬術部も今年で6年目を迎えました。現在部員は1年生10名、2年生5名、3年生7名の計22名です。1月・4月の大会に参加していますが、一般の方達と一緒に競技をし、優勝等上位入賞をしております。

本年度は、高校馬術経験者3名・中学馬術経験者2名の生徒が入学しました、これからも経験者の入学が増えることを期待しています。

*春季三重県馬術大会

- 第一日目
 - 小障害飛越競技B 3位 丹羽 れい
 - 小障害飛越競技A 準優勝 亀井 美希
 - STETTERCLASS I 優勝 勝河内 瑞樹
- 第二日目
 - 小障害飛越競技B 優勝 丹羽 れい
 - 3位 村木 拓
 - STETTERCLASS II 3位 河内 瑞樹
 - 小障害飛越競技C I II 準優勝 河内 瑞樹

*国民体育大会三重県予選 馬術少年馬場馬術

亀井 大志 出場
村木 拓

*国民体育大会東海予選

亀井 大志 出場
村木 拓

*三重県馬場馬術大会

- L1課目 優勝 亀井 大志
- A3課目 優勝 村木 拓
- A2課目 優勝 亀井 大志
- 2位 亀井 美希
- 3位 中尾 拓朗

*全日本高等学校馬術競技

東海地区予選 団体 優勝 全国大会出場

■中・高鉄道同好会

私たち鉄道同好会の主な活動は、夏休み等に部員でテーマを決めて各方面へ遠征します。昨年は三岐鉄道三岐線を乗りに行き、保々車庫を見学しました。普段は、学校近くで個人が見つけた撮影場所で電車を撮ったり、見たり、部室では撮影報告や、鉄道の情報交換をしています。休日には、名古屋や大阪へ撮影に出向きます。最近の主な行事は、毎年恒例の近鉄鉄道まつりや塩浜に行きました。早朝から列に並び、各々の欲しいグッズ、部品を購入したり、いろいろ見学しました。

文化祭では、鉄道模型の運転展示や夏休み遠征の活動レポート等を毎年展示しています。鉄道模型は部員が所有しているものを持参して合わせ、大きいレイアウトにして車両を走らせています。減多に大きな部屋で作ることができないので、毎年楽しみにしています。この展示は部員

だけが楽しむだけでなく、先生も一緒にになり、いつの間にか鉄道の話題で盛り上がります。

私たちは同好会で部室が共同で環境は充分ではありませんが、本当に鉄道が好きなので盛り上がっています。部活動なので、充実しています。近年、鉄道会社に就職した卒業生もあり、いろいろアドバイスをしていたり、今年も新しい部員を迎え、これから意欲的に活動ができることを期待しています。

■中・高囲碁同好会

現在、中学が2名(男子1名、女子1名)、高校が男子2名の部員と、顧問3人で活動しています。先輩が卒業して人数が少なくなり、今のところ必ずしも十分に活動できているとは言えませんが、3段の実力をもつ高校生の佐藤航君を中心に棋力向上に努めています。

今年、秋に近畿高等学校総合文化祭が三重県で開催されます。個人戦は出場および入賞が期待されることです。また、団体戦出場を目指し部員勧誘にも努めています。

■中学野球部

僕たち高田中学校野球部は、放課後や休日の午前中に練習し、休日は試合をする事もあります。練習は東グラウンドで行われ、雨の日は屋根のついた場所で行い込みです。練習では、機械を使ってバッテリーの練習をし、その後コーチによるノック、時には試合形式で練習する事もあります。コーチの指示は適切で、ダメな部分は注意してくれ、チームが強くなっている事を日々実感しています。

感じています。また、選手同士でもお互いに話し合い、納得し、一つの目標に向けて力を合わせながら練習します。

試合は主にバスと電車を移動手段に使います。試合中は、全員が試合に集中し、試合に出ていない選手も必死に応援してくれ、チーム一丸となって頑張っています。また、試合に勝つために皆で力を合わせる事で、チーム内の団結力、絆が深まり、試合を重ねるごとにチームが強くなっていくと思います。

■中学卓球部

(部活動について)

私達は、3年生男子13人女子15人、2年生男子11人女子17人に加え、今年男子9人女子13人の1年生が入部し、男女合わせて78人で活動しています。

中学校卓球部は、先輩も後輩も仲がよく、大人数で楽しみながら練習しています。ラリーや試合形式での練習を中心とし、卓球台が足りないときには筋トレやランニングも行っています。また、球出し用のロボットも活用しながら、段々と上達しているよう、毎日頑張っています。

今年の中学生春季大会では惜しくも予選敗退してしまいました。中学生連夏季大会ではベスト8を目標とし、練習に励んでいきたいと思っております。よろしくお願いたします。

■中学陸上競技部

私たち陸上競技部は3年生16人を中心に、32人で日々活動しています。今年の春、顧問の先生が変わり、練

習の雰囲気も少し変わりました。高
校陸上競技部の顧問の先生にも指導
していただいたり、同じグラウンド
で練習する高校生にも刺激を受けて、
皆それぞれの目標に向かって練習に打
ち込んでいます。

短距離はリレーで東海大会出場、
長距離は県駅伝大会出場を目標とし
ています。県のトップ選手として活
躍している選手も数人います。目標
は夢のままで終わらせるのではなく、
達成目標として頑張っていきたいと
思います。

陸上競技は個人種目と思われがち
ですが、実は、仲間の大切さをもの
すごく実感させられる競技です。励
まし高め合う、切磋琢磨できるチー
ムづくりにも取り組んでいこうと思
います。

両親や先生、先輩方の心温まる応
援は本当に嬉しい限りです。今後と
もご支援、ご指導の程よろしくお願
いいたします。
(杉本)

■ 中学バスケットボール部

私達中学バスケットボール部は、
男子12人、女子15人の計27人で毎日
朝練や放課後の練習を頑張ってい
ます。今の2年生は男女共に一人
で、昨年はどうなるかと思っていま
した。今年の4月、たくさんの1年生
が入ってきてくれ、練習は活気であ
ふれています。

男子は県大会ベスト4位以内に入
るよう、お互いに声をかけ合い、上
級生は下級生に教えるだけでなく同
級生にも気付いたことを遠慮なく指
摘して高め合っています。

女子は県大会ベスト8位以内に入
ることを目標とするだけでなく、個

クラブ名	成	績	
陸上競技部	第7回津市中学校駅伝競走大会		
	男子の部	第2位	
	第1区区間賞	野呂 光希 (1 b)	
	第4区区間賞	山内 優 (2 c)	
	第6区区間賞	細川太佳哉 (3 d)	
女子の部	第6位		
	第1区区間賞	亀谷 美帆 (3 d)	
	※男女とも県大会出場		
水泳部	三重県ジュニアオリンピックカップ夏季水泳競技大会		
	男子50m自由形	第3位 平野 直樹 (2 e)	
	男子50mバタフライ	第3位 平野 直樹 (2 e)	
	男子100mバタフライ	第3位 平野 直樹 (2 e)	
	三重県中学校水泳大会津地区予選会		
	男子200m平泳ぎ	第2位 阪本 洸 (2 c)	
	男子200mバタフライ	第2位 平野 直樹 (2 e)	
	男子200m背泳ぎ	第3位 吉崎 友真 (1 a)	
	男子400mリレー	第2位 平野・藤田 (2 a)	
		吉崎・阪本	
部	三重県中学校水泳競技大会		
	男子200mバタフライ	第8位 平野 直樹 (2 e)	
	三重県中学校学年別水泳大会		
	男子2年 200mバタフライ	優勝 平野 直樹 (2 e)	
	100m自由形	第4位 平野 直樹 (2 e)	
	100m平泳ぎ	第7位 阪本 洸 (2 c)	
	200mリレー	第4位 平野・藤田 (2 a)	
		伊藤 (2 a)・阪本	
		※男子二年団体総合第3位	
	男子一年 100m背泳ぎ	第6位 吉崎 友真 (1 a)	
女子二年 100m背泳ぎ	第8位 水谷 京香 (2 c)		
女子一年 100m平泳ぎ	第6位 中川 純佳 (1 d)		
クリケット愛好会	日本15歳以下クリケット選手権大会 第3位		
科学部	第9回中学校技術家庭科創造アイデアロボットコンテスト三重県大会		
	・応用部門 準優勝および中部電力特別賞		
	第34回全日本中学生 水の作文コンクール		
	優秀賞	竹島 樹 (2 e)	
	入選	神田 美麗 (2 b)	
		神戸 美穂 (2 e)	
		町田 彩乃 (2 e)	
	第62回全国小中学校作文コンクール三重県審査		
	優秀賞	吉田のぞみ (1 b)	
	佳作	佐藤ゆり香 (2 d)	
作文部	鈴木 隆吾 (1 a)		
	第58回青少年読書感想文三重県コンクール地区審査		
	特選	麻生奈穂美 (2 a)	
	第32回人権作文コンテスト		
	入賞	中根麻理菜 (3 a)	
		瀬古 彩音 (3 b)	
		豊田万里奈 (3 e)	
	第5回フロンティアカップ英語スピーチコンテスト		
	入賞	稲葉 雅紀 (1 a)	
	高門宮杯第64回全日本中学校英語弁論大会三重県大会		
弁論の部 最優秀賞	今田 翔子 (3 d)		
第22回日本クラシック音楽コンクール地区本選会			
優秀賞	佐藤穂奈美 (1 b)		
第50回J A共済三重県小中学生書道コンクール			
条幅の部 銀賞	内藤寿美恵 (3 a)		
第41回小中学校三重県読書会			
特等	早川 晶子 (3 b)		
	山中 彩楓 (3 d)		
	仲村 快太 (2 c)		
	佐藤穂奈美 (1 b)		
バレエ	全国鎌倉バレエコンクール		
	第3ブロック	第4位 渡邊 揺 (3 e)	
	クリエ全国バレエコンクール		
	J B部門	第3位 渡邊 揺 (3 e)	

クラブ成績表 (中学校)

平成24年度分

クラブ名	成	績
馬術部	春季三重県馬術大会	
	小障害飛越競技B	第2位 ファブレット 亀井 大志 (3 e)
	小障害飛越競技C	優勝 フリスキー 仲尾 拓朗 (3 c)
	小障害飛越競技C-I	第2位 フリスキー 藤原 千裕 (3 c)
		第3位 フリスキー 小藪 貴子 (3 c)
	小障害飛越競技C-II	優勝 フリスキー 藤原 千裕 (3 c)
		第2位 フリスキー 池田 桜 (3 d)
	STARTER CLASS I	優勝 フリスキー 池田 桜 (3 d)
		第2位 ノーティス 奥山 拓 (3 a)
		2012ジャンピングインミエ
術部	小障害飛越競技A	第6位 ファブレット 亀井 大志 (3 e)
	小障害飛越競技C	第3位 フリスキー 仲尾 拓朗 (3 c)
	小障害飛越競技C-I	優勝 マラカイト 藤原 千裕 (3 c)
		第3位 フリスキー 藤原 千裕 (3 c)
	小障害飛越競技C-II	優勝 マラカイト 藤原 千裕 (3 c)
		第4位 フリスキー 八木原一世 (2 a)
		第6位 フリスキー 中村 元 (2 d)
	STARTER CLASS I	優勝 フリスキー 中村 元 (2 d)
		第2位 フリスキー 入矢 頌仁 (2 d)
		第3位 マラカイト 中村 元 (2 d)
剣道部		第4位 フリスキー 八木原一世 (2 a)
	STARTER CLASS II	優勝 フリスキー 八木原一世 (2 a)
		第2位 フリスキー 入矢 頌仁 (2 d)
		第3位 マラカイト 中村 元 (2 d)
	津市中学校春季体育大会	
	男子個人戦の部	第3位 生川凛太郎 (3 d)
	男子団体戦の部	優勝 六田 (3 d) 西脇 (3 a) 三谷 (3 d) 鎌田 (3 a) 生川 (3 d)
	津市中学校夏季体育大会	
	男子個人戦の部	第3位 生川凛太郎 (3 d)
		六田 億人 (3 d)
男子団体戦の部	準優勝 六田 (3 d) 西脇 (3 a) 豊住 (2 c) 鎌田 (3 a) 生川 (3 d)	
三重県中学校剣道大会		
男子団体の部	第5位 六田 (3 d) 西脇 (3 a) 豊住 (2 c) 鎌田 (3 a) 生川 (3 d)	
	※東海大会出場	
陸上部	津市春季陸上競技大会	
	共通男子3,000m	優勝 片山 優史 (3 d)
		第3位 山中 宏太 (3 d)
	共通男子800m	第2位 細川太佳哉 (3 d)
	3年男子100m	第2位 早川 嘉彦 (3 c)
	3年男子1,500m	第2位 細川太佳哉 (3 d)
	3年男子走幅跳	第3位 早川 嘉彦 (3 c)
	2年男子1,500m	第2位 山内 優 (2 c)
	1年男子1,500m	優勝 野呂 光希 (1 b)
	1年男子100m	第2位 和田 翔吾 (1 b)
競技部	2年女子走幅跳	第3位 竹林あすか (2 e)
	2年女子砲丸投	第3位 伊集院季名 (2 e)
	男子400mリレー	優勝 野呂・早川・的場 (2 b)・宮原 (2 b)
	女子400mリレー	第2位 伊集院・竹林・川崎 (2 e)・岩間 (1 d)
	全日本中学校通信陸上競技大会三重大会	
	男子1年1,500m	優勝 野呂 光希 (1 b) ※東海大会出場
	男子1年100m	第8位 和田 翔吾 (1 b)
	三重県ジュニアオリンピック陸上競技大会	
	中学女子A3,000m	第7位 亀谷 美帆 (3 d)
	中学男子C1,500m	第2位 野呂 光希 (1 b)
津市中学校陸上競技選手権大会		
男子走幅跳	第2位 早川 嘉彦 (3 c)	
男子3,000m	第3位 野呂 光希 (1 b)	
第65回三重県中学校陸上競技大会		
女子2,000m	第6位 亀谷 美帆 (3 d)	

人それぞれが自分の目標を持ち、それに向けて努力しています。

私達はプレーにも性格にも個性があつて、部活中だけでなく、普段の学校生活でも仲が良いです。その仲の良さから素晴らしいチームワークがうまれていきます。練習中など、辛い時は皆で励まし合うことでそのチームワークがさらに固いものになっていきます。

私達がこうして毎日練習が出来るのは顧問の先生や部員の両親、技術などを丁寧に教えてくださった先輩方のおかげです。本当に感謝しています。ありがとうございます。

上級生は最後の大会まで残り少ないので、一回一回の練習を大切にしてお互いに目標を達成できるように頑張ります。これからも応援をよろしくお願いします。

■中学サッカー部

僕たちサッカー部は3年生9人、2年生8人、1年生17人で活動しています。今年のチームは去年より初心者が多いですが、学年に関係なく仲が良いので、チームワークがあります。今は、3年生にとって最後の大会である夏の中学生連にむけて練習しています。

僕達の代が始まってから今までにたくさん問題を起こしてきました。練習に来る部員の数が10人より少なかったり、部室の扱いが悪く、物が散乱していたりもしました。その度に顧問の先生は僕達を厳しく叱ってくれました。その時は面倒臭いと思つていましたが、今では大切なことだつたと思えます。僕は今、顧問の先生と保護者の皆

さんに感謝しています。それは試合の時に毎回、僕達ができるだけいい状態で試合ができるようにドリンクの買い出しや差し入れをしていただいています。こんなにもいい大人に出会うことができ僕達は幸せです。夏の中学生連では、感謝の気持ちを伝えるため、そして春の中学生連の借りを返すために一試合一試合全力で戦つていきたいと思えます。

キャプテン 野田 裕太

■中学バレーボール部女子

現在、中学バレー部は一年生三名、二年生四名、三年生一人の合計八名で活動しています。部員数は多くはないですが、その分、部の結束は固く先輩と後輩の仲がとて良いクラブです。限られた時間の中で練習に集中し技術を磨き、お互いを思いやる気持ちを表現できるようがんばっています。

昨年度は部員が三人しか居らず、他校の選手と合同でチームを作り「高田中学バレー部」として大会へ出場してました。今年度は新入部員を迎え、高田中生でチームを組むことができ、同じバレー部の仲間と大会に出場できるといふ喜びを胸に、日々、練習しています。

私は、たくさん「負け」を経験してきました。夏の大会に向けて、一試合でも多く勝てるよう成長していきたいと思えます。

中学バレー部キャプテン

■中学なぎなた部

先日行われた三重県なぎなた選手権大会(4月29日 三重県武道館)において、演技の部で中道観月(2

c)個人の部で渥美麻奈(3d)が二位に入賞した。この結果、七月に岐阜県で行われる全国中学生なぎなた大会に三重県代表として次の選手が出場することとなりました。

- 団体 吉田 のぞみ(2d)
- 安井 理緒(2e)
- 後藤 香帆(3c)
- 後藤 香帆(3c)
- 個人 渥美 麻奈(3d)
- 演技 中道 観月(2c)
- 後藤 香帆(3c)

4年前の団体5位以来、全国中学生大会での入賞から遠ざかっていますが、今年こそ、好成績をあげたいと日々稽古に励んでいます。

■中学茶道部

私たち、中学生茶道部は先生に本格的なお点前の仕方や畳の上での歩き方などの茶道の作法を厳しくご指導いただいで、練習しています。

また、練習の成果を發揮する場として年に一回、文化祭でお茶会を開いてお点前を披露しています。お茶会にお越しいただいた方には、お茶はもちろんお菓子も振る舞つていただきの方々に茶道に触れていただいています。

私たちにとって、このようなお茶会はお客様をお迎えしてお点前をするという貴重な場になります。だから、この貴重な場を無駄にすることのないように、これからの茶道をがんばりたいと思えます。

最近茶道の見学に来てくれる1年生がたくさんいて、茶道に興味を持ってくれる人が増えました。入部してくれた1年生はお点前などの作法を学びたいと言つて入つてくれて

います。

■高校野球部

私達は今、夏の大会に向けて甲子園を目標に一生懸命練習に励んでいます。日々の練習の中で、技術面が成長していく嬉しさを感じ、厳しい練習の中で自分自身と向き合い、成長させて頂いています。どんな練習にたいしても一生懸命に取り組む中で相手を思いやり、尊敬する気持ちを大切にしてプレーに取り組みしていきます。部活を通して、人と人との繋がり大切さや感謝の気持ちを改めて感じました。

毎朝、早くに起き送迎をしたり、美味しいお弁当を作つてくれ自分達が野球をしている事を一番に応援してくださる両親の存在、野球を通して技術だけではなく精神面に対しても指導を下される先生方、そして一緒に練習や試合などで共に厳しい優しさで励まし合うチームメイトがいます。

その繋がりを大切に、いつも感謝の気持ちを忘れず、見て頂く方々にたくさん笑顔を与えられる野球をしていきたいです。自分達が野球ができていく事をあたり前に思うのではなく本当に幸せな環境にいる感謝の気持ちを忘れずに、どんな時も自分達の中の全力で取り組んでいこうと思えます。

■高校卓球部

平成25年度三重県高校総体卓球競技兼全国総体兼東海総体三重県予選が行われました。結果は次の通り。

【シングルの部 中勢地区予選】

4月20日 津市体育館
男子シングルスでは、Ⅲ4亀飼伸ほか13名が予選通過。女子シングルスはⅢA水口友里江ほか10名が通過しました。

【シングルの部 三重県予選】

5月3日・4日 県営体育館
男子シングルスでは、ⅢA坂本泰征が第3位で念願の全国総体・東海総体の出場権を獲得しました。またⅢA田中健が第7位で東海総体の出場権を獲得しました。

【ダブルスの部 三重県予選】

5月24日 県営体育館
男子ダブルスでは、ⅢA坂本泰征・ⅢA田中健ペアが第4位で東海総体の出場権を獲得しました。

【団体の部 三重県予選】

5月25日・26日 県営体育館
男子団体は第3位、女子団体は第4位で東海総体の出場権を獲得しました。

全国総体は7月29日～8月2日に福岡県北九州市で、東海総体は6月15日～16日に三重県伊勢市で開催されます。

■高校ソフトテニス部

ソフトテニス部は現在男子二十六人、女子十五人で活動しています。プール横に新しく造つて頂いたオムニコートで日々練習しています。ナイター照明もあり、また水はけがとても良いので雨天後でもすぐに練習

ができます。私たちはとても良い環境のもと練習ができることに感謝しています。オムニコートはもちろんですが、本山コート、土コートのコート整備は毎日続けています。

今年には部員数が多く皆で協力しながら頑張っています。特に未経験者の部員にはラケットの握り方やルー

ルなど基本から丁寧に教えています。また六年制、三年制共に部活動と勉強の文武両道に励んでいます。卒業された先輩方には、試合後や練習時に指導やアドバイスをさせて頂き、とてもありがたいです。

団体戦では十二月に行われた新人大会で男子が五位入賞、四月に行われた東海予選大会で女子が五位入賞しました。個人戦では皆の応援のおかげで女子川喜田・小坂ペアが東海大会出場を決めました。

先輩方の皆様も近くにお越しの際には、この素晴らしいオムニコートへお寄り頂き、私達後輩にアドバイスを頂ければ幸いです。

部長 川喜田 真季

■高校硬式テニス部

硬式テニス部は新年度72名の部員でスタートいたしました。コートも顧問も足りない大変な状況の中、部員たちは一致団結して目標に向かってがんばっています。

今後は、8月の三重県高等学校テニス選手権の試合に向けて、ますます練習に精進していきたいと思っていますので、応援をよろしくお願いたします。



■高校陸上競技部

皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

私たち陸上競技部は男子51名・女子29名の80名で過去最高の部員数となり多種目において活動しております。

昨年秋の新チーム結成以降、トラック・フィールド・駅伝において県大会入賞レベルの結果を残すことができました。しかしながら、東海大会以上のレベルでは勝負するまでにはおよびませんでした。今年こそ全国高校総体に出場し納得のいく結果を残すことと、昨年に引き続き高校駅伝で3位以内に入賞すること、そして全員が自己記録更新することを一番の目標に掲げて、冬季練習から心と体の土台づくりからはじめ、強豪校との合同合宿や選抜練習会に参加する中で意識をより高く持つことができるようになってきました。

いよいよ始まった4月の記録会から自己記録を更新する選手が多数出てくる中で、チームがみるみる勢いづいてきました。

そして、迎えた県高校総体では初日の男子走幅跳において、5年の松岡君が向かい風の中、自己新記録で優勝する最高のスタートをきったのですが、他種目では決勝に残るも東海大会出場の6位には一歩届かなかったり、レース中のけがなど、終わってみれば東海大会出場は5種目にとどまり近年においては一番厳しい結果になりました。

しかし、自己記録を更新した種目が40近く現れ、また、松岡君が全国でも上位のランキングに入る記録を残しているため、今年度の目標を突

破できるように日々自己を研鑽していきたくです。まずは、6月の東海高校総体で全国の切符を手に入れる為の努力と調整をしていきたいです。

最後になりましたが、松岡君が7月10日(14日)までウクライナのドネツクで開催される世界ユース陸上競技選手権大会の日本代表選手に選考

されました。この経験を踏まえさらなる飛躍に期待したいです。今後ともご指導、ご支援の程よろしくお願

い致します。

【主な戦績】

第43回三重県高等学校陸上競技

男子走幅跳 優 勝 春季大会

男子走高跳 5年d組 松岡 修平

男子走高跳 5年d組 優 勝 松岡 修平

男子3000m障害 6位 松岡 修平

男子1500m 6位 生川 智章

男子5000m競争 8位 佐野 文昭

女子400m 3位 第3位 宮路 真由

女子走高跳 5年c組 坂倉 央子

平成25年度県高校総合体育大会

学校対抗の部

男子フィールドの部 5位

男子走幅跳 優 勝

男子走高跳 5年d組 松岡 修平

男子三段跳 5年d組 松岡 修平

5年d組 第4位

5年d組 松岡 修平

5年d組 松岡 修平

5年d組 松岡 修平

5年d組 松岡 修平

5年d組 松岡 修平

5年d組 松岡 修平

5年d組 松岡 修平

5年d組 松岡 修平

男子3000m障害 6位

男子5000m競争 8位

女子走高跳 4位

女子400m 7位

女子400m 8位

女子5000m競争 7位

女子5000m競争 7位

女子5000m競争 7位

女子5000m競争 7位

女子5000m競争 7位

女子5000m競争 7位

女子5000m競争 7位

女子5000m競争 7位

女子5000m競争 7位

女子5000m競争 7位

女子5000m競争 7位

女子5000m競争 7位

女子5000m競争 7位

女子5000m競争 7位

女子5000m競争 7位

女子5000m競争 7位

女子5000m競争 7位

女子5000m競争 7位

女子5000m競争 7位

女子5000m競争 7位

女子5000m競争 7位

女子5000m競争 7位

女子5000m競争 7位

女子5000m競争 7位

女子5000m競争 7位

女子5000m競争 7位

女子5000m競争 7位

女子5000m競争 7位

女子5000m競争 7位

女子5000m競争 7位

女子5000m競争 7位

女子5000m競争 7位

女子5000m競争 7位

女子5000m競争 7位

女子5000m競争 7位

女子5000m競争 7位

女子5000m競争 7位

意識をもって取り組むことができました。その成果を発揮する今年度のレースはこれからですが、6月1

2日に浜松市総合水泳場にて行われた浜名湾高校生選手権水泳競技大会

に9人が参加し、3年2組荒木良太が男子1000mバタフライで、1年E組北村彩奈が女子1000m平泳ぎ

で決勝に出場することができました。2人共惜しくも入賞することはできませんでした。特に北村は三重県の決勝進出者で唯一の1年生という点も、今後が期待されます。今年度は力のある選手も多く加わり、6月22、23日に行われる三重県高等学校選手権では個人だけでなく、チームとして昨年度よりも男女とも1つ上のランクを目指します。

今年度は1人でも多く東海総体へ、またインターハイへの切符を手に入れられるようチーム一丸となって頑張りたいと思います。

ご指導ご鞭撻の程よろしくお願いたします。

■高校バスケットボール部

私たちバスケットボール部は常に本気で全力、そして楽しく活動しています。バスケットボールは個々の能力だけでなく、チームワークの重要なスポーツです。チームに貢献できることは何かを一人一人が考え、また、先輩後輩関係なく、互いの弱

点を指摘し、逆に、良いプレイは称賛し合っており、チーム全体のレベルアップに努めています。そうして私たちは毎日の辛い練習も乗り越えて

少しづつ大会でも結果を残せるようになりまし。男子は昨年の冬に県大会に出場できました。しかし、私

私たちはこんなところで満足したりは
しません。ここを通過点と考え、今
まで以上の努力を積み重ねて、さら
に上へ上へと進んでいきます。

■高校男子バレーボール部

私たち男子バレーボール部は、選
手22人、マネージャー7人の29人で
活動しています。

練習は厳しくて辛いこともありま
すが、先生・選手・マネージャーは
皆仲がよく、毎日楽しく部活動に励
んでいます。先生からは技術面だけ
でなく、精神面にも人間的にもご指
導していただいています。また、選手
どうしが意見交換をし、高田のチー
ムらしいプレーができるように心が
けています。プレーだけでなく、周
りの事を見て、みんなで協力して練
習に励んでいます。部活動をしてい
ると、周りの事、人の事がよく見え
てくるのだと改めて思いました。私
たちは全員バレー、そして、大会で
ベスト8に入る事を目標に毎日頑
張って練習していきたくです。

■高校女子バレーボール部

私たち女子バレーボール部は、選
手18人、マネージャー2人の20人で
活動しています。

毎日の練習を中心に、休日の練習
試合や公式試合など、活動内容は大
変充実しています。

高校生の部活動ということで、体
力面・技術面の成長はもちろん、周
りへの気遣いや相手を思いやり、感
謝する心を養うこともできます。た
だ何気なく学校生活を送るだけで、
こういうことは学ぶことができま
せん。

仲間同士のつながりや、先輩と後
輩の関係も濃く、今は三重県ベスト
8、ベスト4進出という目標に向っ
て部員全員が一心となって頑張っ
ています。どのクラブよりも充実した
活動をしていると思います。

■高校ハンドボール部

現在ハンドボール部は、3年生が
引退し、男子21名、女子14名で活動
しています。

昨年11月に行われた新人大会では、
男子は、予選リーグで伊賀白鳳高校
に勝ったのですが、桑名高校と四郷
高校に敗れ、決勝トーナメントに進
出することができませんでした。女
子は、予選リーグで名張西高校に勝つ
たのですが、四日市西高校といなべ
総合学園に敗れ、決勝トーナメント
に進出することができませんでした。
昨年12月に行われた選抜大会では、
男子は、予選トーナメントで桑名工
業高校に敗れました。女子は、予選
トーナメントで四日市高校に敗れま
した。

先日行われた県総体では、男子は、
伊賀白鳳高校に勝ったのですが、四
日市工業高校に敗れました。試合は
負けましたが、強豪相手に38対13と
健闘し、日頃の成果を発揮するこ
とができました。女子は、四日市南高
校に敗れましたが、三年生がい
ないので、大会が終わっても引退する選
手はおらず、この敗退をバネに今後
頑張っていこうと意識が高まってお
ります。

卒業生の皆様、もし時間を作って
いただくことができましたら、是非、
高田高校グラウンドまで足を運んで
いただきたいと思います。

■高校なぎなた部

【主な戦績】

・高校総体(5月19日) 皇學館高校
女子の部

- 個人 優勝 渥美 麻子(6e)
- 2位 駒田華奈子(6a)
- 3位 大萱 花穂(5e)
- 演技の部 3位 駒田華奈子(6a)
- 男子の部 紀平 知里(5f) 組
- 個人 四位 市川 莉希(1)
- 団体 優勝

この結果今年もインターハイに女
子の部へ団体と個人2名(渥美・駒
田)が出場することになりました。
インターハイは、佐賀県嬉野市で八
月一日から行われます。団体は、去
年ベスト16のチームから2名が入れ
替わっただけですので、入賞をめざ
して頑張りたいと思います。また、
個人も昨年度決勝トーナメント入り
した渥美選手、今春の全国高校選抜
大会で四回戦まで進出した駒田選手
が出場しますので入賞を目標に戦い
たいと思います。

東海総体(6月16日)には、女子
団体と個人四名(渥美・駒田・大萱・
紀平)と男子個人一名(市川)が、
演技の部へ二組(駒田・紀平組、紀
平・湯川美咲(6b))が出場します。
東海総体では、去年今一步のところ
で逃した総合優勝をめざして頑張り
たいと思います。今年、津市の芸
濃総合文化センターで開催されるの
でホームチームとして、全力を尽く
して他県チームを迎え撃ちたいと思
います。尚、本校渥美選手が選手を

代表して宣誓を行います。

■高校男子新体操部

新体操部です。本年度も部員一同、
部活と勉強の両立を目指し、日々練
習に励んでいます。今年は1年生部
員が7人入部し、総勢21人という大
所帯で活動しています。

新体操競技は、個人競技ながら1
分30秒、団体競技なら3分という時
間の中で行われます。この短い時間
の中で、今までの練習の成果を全て
出しつくさなければなりません。当
然ながら、競技は一回きりですので、
たった一つのミスが明暗を分けるこ
ととなります。また、競技中は監督
であつてもアドバイスなどの声かけ
などをする事はできません。選手
はひたすら自分を信じるほかありま
せん。従って、技術や体力も大事で
すが、ここぞという時の集中力や緊
張感に打ち勝つ精神力を磨くことに
重点を置き、練習をしています。

さて、本年度の主たる大会とい
しましては、6月に三重県で行われ
る東海高校総体、8月に佐賀県で行
われるインターハイがあります。個
人競技のインターハイ枠は県一人で
すので、互いに切磋琢磨しながらそ
の枠を目指して必死の思いで練習し
ています。今年出場すれば、26年連
続となります。出場はもちろんです
が、そろそろ一定の結果を出したい
と思っています。また、東海高校総
体は三重県開催となりますので、三
重県の代表として大会の主役になり
たいと思っています。

最後になりますが、新体操部OB
の皆様の心温かな応援ありがとうございます。
また、今後ともご支援の

方、よろしくお願いいたします。

■高校バドミントン部

私たち高校バドミントン部は、男
子30人、女子15人の計45人で活動し
ています。

昨年度は三重県高等学校バドミン
トン秋季大会兼全国高等学校選抜大
会県予選会、女子団体の部において、
創部以来初となる第3位に入賞し、
東海大会に出場することができまし
た。また、先日おこなわれた三重県
高等学校総合体育大会バドミントン
競技兼全国高等学校総合体育大会県
予選会、女子団体の部においても第
3位に入賞し、2大会連続東海大会
出場を決めました。

今年度は、男女共に個人戦での入
賞、団体戦はベスト4以内、そして
東海大会、全国大会出場という目標
を果たすべく、日々厳しい練習に励
んでいます。

顧問である、齋藤先生、天野先生、
奥田先生には、いつも熱い指導をし
ていただいています。普段は高田短
大の体育館を借りて練習しています。
部員は小学校や中学校からの経験者
もいますが、高校からバドミントン
を始めた者も多く、基礎的な練習か
ら応用を利かせた練習など幅広くお
こなっています。週末には外部コー
チの方々に来ていただき、指導して
もらっています。体育館は毎日使え
るわけではないので、外周を走った
りトレーニングをしたり、公の体育
館を使用したりしています。決して
練習環境が良いとは言えませんが、
それをマイナスに捉えるのではなく、
そのときにできることに集中し
て、常に全力で取り組んでいこうと

思います。そして、目標達成に向けて、顧問の先生、外部コーチの力を借りし、いつもお世話になってる方々に対する感謝の気持ちを忘れずに、これからも練習に励みたいと思います。

■高校ソフトボール部

私たちソフトボール部は、3年生3人、2年生9人、1年生7人、マネージャー3人で活動しています。そしてソフトボール部として、礼儀をモットーに部活動に励んでいます。少しづつでも大会で上位を目指せるようにと、辛い練習もやってきます。その成果が現われ、練習試合でも勝てるようになりました。それぞれが個性を出し、高田のソフトボール部らしい試合もできるようになってきました。勝てる試合や楽しい試合も経験し、苦しい練習や辛い練習のやりがいも感じています。

5月25日には県総体を迎えました。相手は桑名西高校、それに勝てば三重県で一番の伊勢学園と戦えるという減多に経験できないチャンスも掴むことができました。なかなか練習できない中で、自分たちでできる最大の力を発揮し、一回戦に挑みました。結果は3対2、3年生にとって最後の大会は、とても悔しい試合になりました。けれども、最後まで諦めず、チーム全員で戦え、みんなが一つになった気がしました。

これから、もっと強いチームになれるように辛いことや苦しいこともソフトボール部全員で乗り越えて、後悔しない毎日を過ごしたいと思えます。また、感謝の気持ちを忘れず、沢山の方に応援してもらえらるチーム作りを目指し、何よりも高田高校ソ

フトボール部らしさを大切に、日々努力していきたいと思えます。

■高校軟式野球部

軟式野球部は、今年同好会から部へと昇格し、現在、選手21名、マネージャー2名で活動をしています。文武両道に加え、東海大会出場を目標とし、今まで以上に精力的に練習に励んでいます。

昨年の秋季大会では、延長戦までもつれた接戦の末、初戦敗退という残念な結果に終わりました。選手それぞれに課題が残る悔しい結果となつてしまい、その悔しさをばねにして、より一層練習に励みました。そして、県内のみならず県外の高校とも積極的に練習試合を重ねました。厳しい冬場の練習にも耐え抜き、体力、技術力、精神力を向上させてきました。

そうしたなかで迎えた春季大会では、初戦の対津高校戦で自分たちの持ち味を活かしたプレーで度々好機を演出するも、あと一本が出ず、接戦の末敗れてしまいました。今まで進出していた決勝トーナメントにも駒を進めることができず、非常に悔しいものになってしまいました。

この悔しい思いを晴らすために、夏季大会までの残された時間で、更に自分たちの持ち味を磨き、練習試合で経験値を積み重ねていきます。そして、創設以来の悲願である東海大会出場を勝ち取ります。



第63回三重県高等学校総合体育大会 結果

平成25年5月24日(金)~26日(日)

Table with 7 columns: 部名, 競技, 年組, 氏名, 成績, 東海, 全国. Rows include categories like なぎなた部, 新体操部, 剣道部, ソフトテニス部, バドミントン部, 柔道部, 陸上競技部.

Table with 7 columns: 部名, 競技, 年組, 氏名, 成績, 東海, 全国. Rows include categories like 卓球部, なぎなた部.

■高校サッカー部

部活動について

顧問 若林 広繁

高校サッカー部も今年度で創部20年目を迎え、サッカー部員の生徒達も西グラウンドの素晴らしい環境の中で、毎日一生懸命にボールを追いかけて、汗をかき、充実した学校生活を送ることができています。

今年度の県総体予選は初戦の鈴鹿高専を3-2で下したものの、今年も2回戦では昨年2回戦で敗退した伊賀白鳳高校と再び対戦しましたが、昨年のリベンジを目標に掲げましたが、結果は0-3と惨敗しました。Ⅲ年生は8名と少ない人数ながら、後輩達を引っ張ってきましたが、残念ながら県総体予選で引退となりました。

現在は、Ⅱ年生20名、Ⅰ年生26名の計46名で県Bリーグの連戦中です。6月1日の初戦では、Ⅲ年生率いる四日市工業に1-1の引き分けで、勝利は掴めなかったものの、負けなかったことに新チームの頼もしさも感じました。しかし、リーグは8チーム中7位と厳しい状況であり、今後苦戦が強いと見えています。

リーグ戦が高校サッカーに導入されてから、10年目を迎えています。選手達は力の拮抗した激戦を繰り返し、日々試行錯誤しながらレベルアップするための意識付けが自然にされてきているように感じます。今後は、高田生のストロングポイントを生かした、賢く察して、オン・オフともに状況に応じた判断のできるプレーヤーを育成していくことが、私たち指導者の役割として強く感じ

ています。現部員達は先輩たちの残してくれた伝統を大切に受け継ぎながら、新たな成績記録を築き上げるため、チーム一丸となってサッカーを楽しむながら努力しています。本学サッカー部は、誰からも応援される姿勢で取り組む気持ち、他者を思いやり感謝する気持ち、チームの一員として何事も全力で勝ちにいく気持ち、そして生涯サッカーを愛し続ける気持ち、をチームスローガンとして活動しています。高田高校の一員としての誇りを持ち、いつそこの努力を忘れず、部員指導者共々日々精進していきますので、今後ともご支援ご協力よろしくお願ひします。

■高校家庭部

家庭部に入部してからの一年間、私は食の持つ力というものを強く感じていた。食によって人と人とが繋がりが、新たな交流の輪を生むことができる。それが食の持つ可能性ではないかと考えるようになった。

私たちは、週2回の部活で主にパウンドケーキやシフォンケーキなどを作っており、見学会や文化祭、寺内町祭りやバレンタインの企画などで発表の場をいただいている。どのイベントでも、自分たちが工夫を重ねて作り上げたものを食べ、笑顔になつてもらえるというのは、何より嬉しい瞬間である。そして、見学会や寺内町祭りや初めて知り合った中学生や、地域の人々と、ケーキを食べてもらったことにより、距離を縮めることができた。文化祭やバレンタインの企画で、カフェを出店したり後輩たちにお菓子の作り方を教えることによって交流を深めることが

できたりという経験もさせていた。食べた物を共有することによって同じ時間を共有し、一期一会の交流を深めることができる。このことを実感できたことにより、食の豊かさや、食を楽しむことの本当の意味に少し近付けたような気がする。

もちろん、部活動の中で自分たちで作るケーキを改良していく過程も、とても楽しいものである。ケーキに自分たちのアイデアを盛り込んだり、失敗を踏まえて改善方法を考え、それが成功したときの喜びは大きい。

また、先生方からケーキについてのアドバイスをいただいたり、礼儀やマナーなどで気付けさせていただくことも多い。食の持つ力を忘れず、これからも精進していきたい。

■高校仏青インターアクト部

「仏青インターアクト部の活動を通して」

田中 陽菜

仏青インターアクト部は、現在男子7名と女子16名で活動しています。一年間を通して、様々な活動に取り組んでいます。学校行事としては、月に一度の本山参詣、入学式、宗祖降誕会、花まつり、中学一年生の比叡山校外宿泊学習、追弔会、報恩講卒業式などです。

また、一身田町内では、七夕祭り、津市教育委員会主催歴史まるごと体験塾、寺内町まつり、寺内町や環濠の清掃活動、JR一身田駅の美化活動を行っています。七夕祭り、寺内町まつりでは、出店のお手伝いを行います。昨年の七夕まつりはカレーライスとかき氷の販売をお手伝いし、

一身田青年会の方々と地域の子とも達と交流することができました。歴史まるごと体験塾では、津市内の小学校5年生、6年生と高田本山専修寺に宿泊し、一身田についての歴史や文化に触れ、昔の遊びなどを体験するサポートをさせていただきました。高校生活では体験できない行事でもあり、とても新鮮な気持ちになれるのと同時に高校生である私たちも多くのことを学ぶことができます。他団体とも積極的な関わりを持っています。例えば車イス体験を行う津市社会福祉協議会が主催する車イスウォークラリーや災害支援などのチャリティーバザーを行う高等学校文化連盟が主催する高文祭などに参加しています。また、あしなが学生募金や赤い羽根共同募金などの募金活動にも協力しています。

私にとってこの部活動は、地域の人々や他校の生徒と交流することができる貴重な場所だと考えています。これからも交流することの大切さを忘れずに一生懸命に活動に取り組み、わずかでも社会に貢献できるように努力していきたいと思っています。

■高校将棋部

5月5日に行われた第49回全国高等学校将棋選手権大会三重県予選において、高田高校は男女とも団体戦優勝、女子個人戦においては優勝、準優勝に輝き、長崎県で行われる全国大会の出場権を獲得しました。

将棋部は、放課後2時間ほどの練習を毎日行っています。中学生、高校生の区別もなく大会に向けて実践中心の練習を行い、対局後についてはお互いの良かったところや、悪

かったところなどを確認しながら試合で勝つことを目標に練習に励んでいます。

また、土日には他の学校の生徒たちと練習試合を行うなど、棋力の向上に向け努力を重ねています。興味のある生徒のみなさんは、是非部活動を見学して下さい。

■高校俳句部

去る6月16日、三重県庁で行われました、第16回俳句甲子園東海地区津大会に、俳句部から2チームが出場し、Aチームが優勝。今年もまた全国大会への切符を勝ち取ることができました。皆様の応援に感謝しております。

今年の俳句部は11名(男子5名、女子6名)で、部長の永田君(Ⅲ年)を中心に、昨年以上に精力的に活動してきました。週数回の集まりでは、句会やディベートの練習、吟行に出かけるなど。また、今回の俳句甲子園の兼題が「目高」であったこともあり、学校近くの川でメダカを採り、皆で大切に世話をしたりもしています。普段の積極的な活動が、今回の優勝、11年連続全国大会出場につながったと思っております。

今回の大会では残念ながら惜敗したBチームも、まだ投句審査による推薦出場の可能性も残っております。部員一同、大会に向けより一層活動を充実させていきたいと思ひます。皆様、応援頂きますようどうぞよろしくお願ひいたします。

■高校生花部

生花部は現在、3年生5人、2年生5人、1年生13人で、小林滋子先

生のご指導のもとお稽古に励んでいます。

昨年9月、現在の3年生部員3人が初めて「花の甲子園」東海地区大会に出場しました。この大会は池坊華道会が主催し、松坂屋名古屋店のマツザカヤホールで行われ、東海地区の17高校が参加しました。一次審査では、既存の花器を使用せず、各々で考えたオリジナルの壁掛けを花生けとして用い、テーマに沿ったお花を15分間でいけます。その後、作品についてのプレゼンテーションを各校1分30秒で行い、審査員、参加高校生、観客がそれぞれ投票を行います。

本校生花部の作品は「ありがとうございます」というテーマで、高田高校のエンブレム型に裁断した濃紺の布に菩提樹の葉を象った黄色と緑色の布を貼り付けた壁掛けの花生けを夏休み制作し、そこにアスパラの葉と赤と白のカーネーションを、普段お世話になっている方たちへの感謝の気持ちを含めていきました。残念ながら二次審査に進む5校には入れませんでした。お稽古の成果を多くの方々に見ていただき、また他校の作品やプレゼンテーションを見ることで、とても良い経験になりました。

小林先生を始め、多くの先生にご指導いただき、ありがとうございます。

■高校放送部

昨年度はNHK杯全国高校放送コンテスト全国大会朗読部門で入選を果たすなど、大きな成果を出すことができました。部員一人一人は自ら

の課題を持ち、放送を通じて如何に伝えるか、どのように表現するかを追究しています。

放送部での活動を自己の進路実現にも活かすことができた、門山葉子さんの文章を紹介いたします。今春本校卒業の門山さんは、「人に伝える」と題し、次のように語っています。

『今年の「みえ高文祭」での朗読が私の高校生活最後のステージでした。出番直前、舞台袖で待機している時、夜遅くまで学校に残って練習したこと、読み終えた後の充実感、大会に出場し賞をいただいた時の喜びなど、放送を通じてこれまで経験できたことが走馬灯のように頭に浮かんできました。今回の高文祭では、聴いていただくお客様に私の朗読した場面の情景や登場人物の心情を想像していただけるような表現をするということを強く意識して朗読しました。これを機会に、朗読そして放送に多くの方々が興味をもってくださると思います。また、放送以外の発表を見て、人に伝える手段の多様性を改めて実感し刺激を受けました。毎日一緒に活動した仲間や後輩たちに感謝しています。』

このように、高田高校放送部は部員一同お互いに協力しながら、それぞれの活動を支えています。すべてのお世話になった方々への感謝の気持ちを忘れずに、この良き伝統を受け継いで、さらに発展していくよう努力を続けたいと思います。

■高校天文部

高校天文部は、科学部地学班(中学校)と合同で、3号館4Fのプラネタリウムで毎週3日程度活動して

います。活動内容は、プラネタリウムを用いた天体・星座の学習や、校舎内にある天体ドームでの月・星の観察です。また、プラネタリウム解説のシナリオを作成し、校内や文化祭で発表したりしています。

今年の2月10日(日)には、MAPみえこどもの城で開催された『第7回プラネタリウム解説コンクール』(通称・プラコン)に出場し、日比野里奈さん(中学3年b組)と山口俊史君(中学1年b)が、語り部部門(課題の日時をふまえた創作物語を、プラネタリウムの星座にイラストや画像を加えて話をする形式)で最優秀賞を受賞しました。(作品タイトル『未来から』)

この大会には第1回大会から連続でエントリーを続けており、天文部の活動の目玉の一つとして位置づけてきました。しかしながら、大会が本年度で終了となってしまったため、新しい取り組みを探しています。今後とも少しでも活動の幅を広げられるようにいろいろと模索していくので、ご支援をよろしく願っています。

■高校演劇部

全国大会に初出場
今回の樹心会報が同窓会員の皆様のお手元に届けられるころ、高田高校演劇部は全国大会真つ最中、長崎市公会堂の舞台を踏んでいることになります。

本校演劇部は創部以来50年余、夢に見ることさえなかったような快挙を成し遂げることができました。昨年第65回中部日本高等学校演劇大会

(12月23日～26日、福井市文化会館)に出場を果たし(今世紀に入って2度目、通算4度目)、最優秀賞である文部科学大臣賞を受賞し、中部プロククの推薦を受けて、創部以来初めてとなる全国大会への出場がかなうことになりました。

全国大会に出場できるのは全国8ブロックから推薦を受けた12校のみであり、ほんとうに狭き門をくぐり抜けて得た貴重な機会です。昨年はたくさんの新入部員を得て30名の部員を擁することになりました。みな稽古熱心で、日頃のためまざる練習の成果が実を結んだものといえます。

今回の作品は、本校教諭・演劇部顧問の西尾優先生(6年制35期04年3月卒)の創作「マスク」で、これまで公の場で5回上演してきました。全国大会は年度をまたぐため、キャスト・スタッフの一部を入れ替えての上演となります。全国大会を前に7月15日(月・祝)には白山総合文化センターしらさぎホールで、三重県高校演劇連盟の支援によって全国大会壮行公演が行われます。全国大会上演は8月3日(土)に決まりました。応援のほどよろしくお願いいたします。

また、昨年は、元三重県高校演劇連盟委員長であり、本校演劇部の顧問として長年ご尽力くださった田中和磨先生が、中部大会のひと月前に逝去されました。故田中先生への感謝の思いを抱きつつ長崎に行ってきます。(水野記)

学苑開校一四〇周年 記念植樹



平成二十四年十一月二十九日 樹心同窓会役員の皆様方が集まっていた。学校西の新グラウンドの北側の学校正面と本山が望める場所に学苑開校一四〇周年を記念してクスノキ二本が植樹されました。記念樹はクスノキです。

年と共に大きく育ち、夏の暑い日には生徒たちに涼しい場所を提供してくれるでしょう。



国際交流委員会

平成24年度

オーストラリア交換留学

報告書

堀 元 宣

平成24年度のオーストラリア交換留学は、2013年3月15日(金)～3月29日(金)まで、生徒31名(高校1年生12名・4年生19名)、引率教員4名(伊藤龍馬・緒方美穂子・杉本和世・堀元宣)総数35名で実施しました。今回で19回目の交換留学となります。歴史の重みを感じながら、メルボルンのパレード校とSt.モニカ校を訪問しました。

3月14日、結団式・校長訓話・記念撮影の後、最終打ち合わせを行い、翌朝セントレアを出発、シンガポールを経由し、16日の朝メルボルンに到着しました。バスでパレード校とSt.モニカ校へ向かい、ホストファミリーと対面しホームステイが始まりました。

翌週からはそれぞれの学校での生活が始まりました。教科の授業に加えて、サーフィン実習、メルボルン市内散策、自然動物園見学、金鉱野外博物館見学等、様々なプログラムが用意されていました。帰国前には、ビクトリアマーケットでの買い物やお別れパーティが催され充実した

日々を過ごしました。

休日はそれぞれのホストファミリーとともに過ごしましたが、生徒はメルボルン近郊の観光地に連れて行って頂き交流を深めました。毎日の生活の中で異国の習慣や考え方に接し、知らず知らずのうちに文化交流を行ったようです。生徒にとっては、毎日が新しい体験の連続で本当に素晴らしい経験になったと思います。最終日、ホストファミリーとお別れで、泣きながら抱擁し別れを惜しむ生徒達の姿が印象的でした。私自身も別れの挨拶で目頭が熱くなり、後ろ髪引かれる思いで帰路につきました。

小火騒ぎ等あり緊張する場面もありましたが、生徒に病気や怪我もなく無事に交換留学を終了することができました。これは事前に綿密な計画を立てて頂いた国際交流委員会の先生方のお陰であると感謝しています。今年度は20回目の節目の年となります。長い歴史を持つこの交換留学が益々発展することを切望いたします。



短大だより

進路状況と

キャリア支援について

キャリア支援センター

平成24年度卒業生の進路状況について報告致します。

子ども学科卒業生150名の進路先は、幼稚園25名、保育園・保育施設108名、福祉施設10名、企業6名、家事従事1名でした。幼稚園教諭・保育士の専門職としての就職者は90%を占め、例年通りの高い率となっています。

六回生27名が卒業した人間介護福祉学科では、就職者は老人介護施設20名、障害者支援施設3名、進学者は四年制大学4名でした。

オフィス情報学科改めオフィス人材育成学科となった初めての卒業生61名は、卸・小売業16名、医療・福祉12名、製造業8名、金融・保険業4名、情報通信業4名等に53名が就職しました。進学は四年制大学1名、同研究生2名、看護専門学校2名、家事従事等は3名でした。

子ども学科関係への求人数は、664人(昨年533人)で大幅に増加しました。新規開設の保育所が3園、また中勢以北から追加求人が多かったのが特色でした。人間介護福祉学科関係へは473人(昨年

524人)で減少しましたが、県内には新規開設の施設もあり、多くの求人をいただきました。オフィス人材育成学科関係へは561人(昨年426人)で、一昨年の数字にほぼ戻りました。

5月17日に公表された国の就職内定状況調査(4月1日現在)の結果では、今春卒業した大学生の就職率は93.9%(昨年93.6%)「短期大学生(女子のみ)は94.7%(同89.5%)」で、2年連続の改善となりました。本学の就職率は98.1%で県内の短大の平均89.8%を大きく上回っています。5月末現在、未内定のまま卒業した学生4名の内3名が就職しました。これも各幼稚園、保育園、施設、企業、高田学苑関係者の皆様方のご支援の賜物と深く感謝いたしております。

国内経済はアベノミクスと呼ばれる円安や株高により景気回復が期待されますが、就職担当といたしましては多くの本学学生の出身地域であります中南勢地区の園・施設・企業の求人増加に繋がってほしいと願っています。

今後とも学生の進路希望が実現できますよう、学生一人ひとりに応じたいきめ細かなキャリア支援に引き続き努力していく所存です。

学苑同窓生の皆様におかれましては、今後も学生の進路希望実現のため、ご協力、ご助力の程、よろしくお願い申し上げます。

短大部会だより

北端 一子

先日、短大に行った帰り、門までの坂道で、高田短期大学のバスと出会いました。今まで聞いていました、会ったのは初めてでした。あのくねくね曲がった坂道を登ること、他の車と交差するには狭い道路です。自分が通学していたときは、砂利道で、とても歩きにくかったです。でも、友と話をしながら歩いていたので、長く感じませんでした。久しぶりに歩いた時、とても長く感じました。年齢を重ねてきたからかもしれません。また、一身田や高田本山の駅から歩いたことも一つの楽しい思い出です。今では、バスに乗れていいなと思いつつながら短大を後にして帰りました。

さて、今年度も短大部会がスタートしました。各年度の理事さんが、百五十名を越えました。各年度によつて理事の人数は違いますが、歴史の重さを感じます。

役員会では、一年間の活動の方向性の確認や、このごろの社会の情勢についても話し合います。現役の人

が多いので、夜に会合を持ちます。出身の科は違いますが在学中だった時の話は、楽しいものです。また、年齢が離れているので、話が合わないこともありませんが、結婚のこと子供の事など、先輩の話は参考になるのではないのでしょうか？

短大も保育科だけでしたが、今では、社会の要望に合わせて科が増えたり統合したり変化をしています。今までのことが全てでなく、その時その時に応じた対応が必要だと感じました。

短大部会は、年四回の会合を持っています。全員が集まることは出来ませんが、都合がつく限り参加してもらっています。三回目は、学園祭に集まります。高短祭は、とてもにぎやかで各ブースには、出店があり、一つ一つ見て回ることも楽しいです。催し物もあるので一般の方も参加しています。短大部会もバザーを出店しています。毎年楽しみにしているという声を聞くと、励みになります。高短祭に来てみませんか？待つております。その時は、ぜひ部会の店にも寄ってください。

ひとこと

教育実習生より

波多野 みなみ

私は今回、母校である高田高校で三週間の教育実習をさせていただきました。

初めての授業は五十分間緊張し通してました。クラスの生徒たちの視線がこちらに集中していると思うと、さらに緊張は高まりました。それでも二回目、三回目と何度も授業をこなすうちに、だんだんとリラックスして授業を進めることができるようになっていきました。黒板を背にし

教壇に立つて実際に授業をしてみると、「教える」ということの難しさを実感しました。しかし、その難しさとともに、やりがいを感じられ、教師という仕事の魅力を再確認することができました。また、ホームルームを担当させていただいたクラスの生徒だけでなく、授業だけ行っているクラスの生徒も、教室や廊下でニコニコ笑いながら話しかけてくれて、そういった生徒との交流が、教師になりたいという思いをいっそう強くするものとなりました。

今回の実習では、お忙しい中でわざわざ私の授業を見に来てくださった学苑長先生や、声をかけてくださった先生方のおかげで無事に終えることができました。この三週間の教育実習での様々な経験を胸に、教師になるため今後も勉強に励みたいと思います。

東京大学四年 玉 樹 伶

この度私は、高田高校で三週間の教育実習をさせていただきました。高田高校在学中から、教師という職業は私にとってとても身近なものでした。学生時には様々な先生方の授業を生徒として経験しており、学校も先生も授業も、あまりにも日常的なものでした。ところが、今回の教育実習で教師の立場から授業を経験することで、教えるということとは、想像を超える難しさや複雑さがあるということを感じることができました。また同時に、教師という職業の豊かさやその生きがいを感じることもでき、とても充実した三週間の実習を過ごすことができました。

実習では梅村先生に大変お世話になりました。三十五回もの授業をさせていただき、その全ての授業に対して、現職の教師の立場から丁寧かつ的確な指導を賜りました。また、指導案作成や授業の展開についても様々な助言をいただきました。毎授業後の指摘や助言によって、授業から多くを学び、実践に移すことができ、教育実習が大変有意義なものになりました。心より感謝申し上げます。

三週間の教育実習を通して、様々な先生方からの指導や助言、生徒との触れ合いの中で得たもの、実習生と切磋琢磨した経験はとても新鮮で貴重なものでした。これらの経験を活かし、将来教壇に立てるよう、一層の努力をしたいと思います。

報 告

岡松	小原	内藤	本岡	今内	清内	苗高	前高	渥安	岡松	小原	内藤	本岡	今内	清内	苗高	前高	渥安
正隆	正隆	正隆	正隆	正隆	正隆	正隆	正隆	正隆	正隆	正隆	正隆	正隆	正隆	正隆	正隆	正隆	正隆
24	23	25	12	7	22	21	20	20	24	23	25	12	7	22	21	20	20
中3卒	中3卒	中3卒	中3卒	中3卒	中3卒	中3卒	中3卒	中3卒	中3卒	中3卒	中3卒	中3卒	中3卒	中3卒	中3卒	中3卒	中3卒

福橋	丹羽	山中	練木	山中	土川	川土	川土	川土	福橋	丹羽	山中	練木	山中	土川	川土	川土	川土
健	健	健	健	健	健	健	健	健	健	健	健	健	健	健	健	健	健
28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28
中3卒	中3卒	中3卒	中3卒	中3卒	中3卒	中3卒	中3卒	中3卒	中3卒	中3卒	中3卒	中3卒	中3卒	中3卒	中3卒	中3卒	中3卒

若林徳則様 (中3昭和26年卒) 津市野田在住 瑞宝雙光章ご受章

平成18年4月29日に33年間の長きにわたり特定郵便局長を勤められ、その郵政事業の功勞により、瑞宝雙光章を叙勲されました。

事務局日より

平成24年度退職教職員

今松	高川	森鼎	北山	梅鷹	黒山	藤原	今松	高川	森鼎	北山	梅鷹	黒山	藤原
西下	木村	川崎	(短)	川阪	宮崎	(中)	西下	木村	川崎	(短)	川阪	宮崎	(中)
秋正	直み	ふ龍	剛征	理信	啓満	(高)	秋正	直み	ふ龍	剛征	理信	啓満	(高)
穂治	人子	子教	司子	世明	子世	康	穂治	人子	子教	司子	世明	子世	康